

OVERTAKE BOOSTER FA

SPORT LINE

この度は弊社製品<オーバーテイクブースターFA>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

本製品は車両の加速を極度に向上させるコントローラーです。本製品を安全にご使用して頂く為に装着、ご使用の前に必ず本説明書を読み、内容を十分に理解したうえで取り付け作業、製品使用をおこなって下さい。以下文面にオーバーテイクブースターを<OTブースター>と表記致します。

お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。
- 本製品は電子スロットルの制御を目的に製作されています。配線の接続及び、使用方法を間違えると車両の不調・破損・事故をきたす場合が考えられますので十分慎重に取り扱い下さい。なを何かの原因で車両の不調・事故が発生しても当社では一切の責任を負えませんのでご了承下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

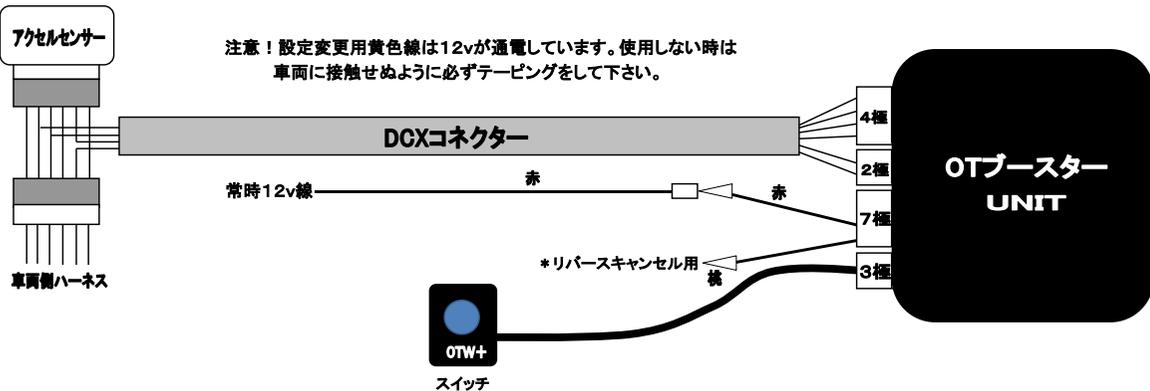
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさけて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

注意 オーバーテイクブースターとスロットルコントローラーを組み合わせることは出来ません!

取り付け時の注意

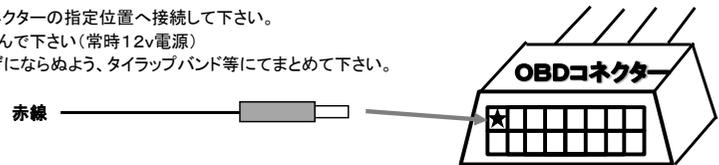
- 取り付けが完了したら、エンジンを始動させる前に必ず<初期設定>をおこなって下さい。
- 取り付け作業はエンジン停止後、**車両電源が完全にOFFになったのを確認してから作業を開始**して下さい(約30秒程度)
 - 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』をしてエンジンチェックランプが点灯してしまうことがあります。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい。バッテリーをはずした場合はアイドリング学習、他設定が必要になります。
- 電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には注意して慎重に作業をおこなって下さい。
- 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、やエンジンチェックランプ点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックランプの点灯を消すことができない場合があります。慎重に作業をおこなって下さい。

接続図 ▷ →オスギボシ □ →メスギボシ



取り付け手順

- 注意** 取り付け作業はエンジン停止後、車両電源がOFFになったのを確認してから作業を開始して下さい。
- ① 別売のDCXコネクタを装着して下さい。
 - 装着方法はDCXコネクタの説明書を参考におこなって下さい。
- ② DCXコネクタの2極と4極カプラーをOTブースターへ確実に差し込んで下さい。
- ③ 7極の電源取り出しハーネス、スイッチの3極カプラーをOTブースターへ確実に差し込んで下さい。
- ④ 7極コネクタの赤線を車両のOBDコネクタの指定位置へ接続して下さい。
 - 図の★印の位置に差し込んで下さい(常時12v電源)
 - * ハーネスは運転の妨げにならないよう、タイラップバンド等にまとめて下さい。



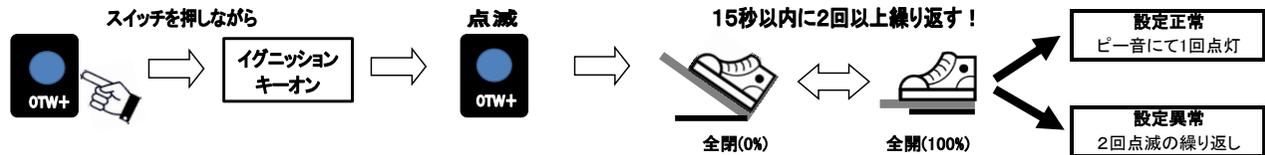
- OBD以外より接続する場合は、赤線の先端に圧着されている端子を一旦カットし常時12v電源線へエレクトロタップにて接続して下さい。
 - * IG12vは可、ACC12v線は不可です。
- トヨタ車、レクサス車、ダイハツ車は、一部ディーラーにてOBDよりの電源取り出しは禁止されている場合があります。
 - * その場合は他の位置より電源の取り出しをおこなって下さい(常時12vが見つからない場合はIG12vでも可)

ユニット固定

- 接続が終了したら、ユニットおよびスイッチを運転の妨げにならない位置へ固定して下さい。
- ユニッツはカーペット下等に固定して下さい。(熱・水のかからない場所へ固定)
 - * ユニッツ及びハーネスは電源ノイズの多い機器、ハーネスからは遠ざけて固定して下さい。

初期設定 初めて車両に装着する場合、装着車両を変更する場合に必ず必要です!

- 重要** 初期設定を行わない状態で本製品を使用した場合、車両ECUがエラーと認識をしてしまいます。必ず正確な操作にて初期設定を行ってください。
- 注意** 初期設定はエンジンを始動させない状態でおこなって下さい!



- OTブースターのスイッチを押しながらイグニッションキーをオン状態にして下さい。
 - OTブースタースイッチは押し続けて下さい。
 - ボタン点滅(1回点滅)&ブザー音の初期設定モードに入ります。
 - 15秒以内にアクセル操作で、アクセル全閉(0%)と全開(100%)を2回以上繰り返して下さい。
 - 1回でも可、念の為2回以上入力
 - この操作で、アクセル信号の0~100%の電圧値が入力されます。
 - アクセルペダルを踏み損じた可能性のある時は、①~③の操作をやり直して下さい。
 - 15秒間の初期設定モードが終わると、『ビ〜音』と共にLEDが消灯します。
 - ハーネスはずれ等で初期設定ができなかった場合は『ビビビ音』のあとにLEDが2回点滅を繰り返します。
- 注意** 初期設定がきちんと認識されない場合はLEDが2回点滅を繰り返します。この状態の場合は各接続確認後、初期設定を再度おこなって下さい。

- 注意** 初期設定をおこなわないで使用した場合はエンジンチェックが点灯してしまうことがあります。
- エンジンチェックが点灯してしまった場合は、エンジンチェックが点灯したままの状態、IGキーONで通常の初期設定をおこなって下さい。初期設定終了後、正常な状態を3~5回車両に認識させてやりエンジンチェックが消灯すれば問題ありません。エンジンチェックが消灯しない場合は、専用の機器にてエンジンチェックを消去して下さい。(カーディーラー等の機器)

リセット方法 一度設定したデータをリセットする方法です。

- 初期設定中にアクセルを1度も踏まないで内部データが全てリセットされ完全な初期状態に戻ります。

作動確認

- スイッチを押すたびに<OTブースター>⇄<ノーマル>が切り替わります。
- ① エンジンを始動させて下さい。
- ② エンジンが正常に吹け上がるか?確認して下さい。
 - 異常がみられる時は、ハーネス、本体の取り付けを再確認して下さい。
- ③ スイッチを1回押した時にスイッチのLEDが点灯するか?確認して下さい。
 - この状態でエンジンが正常に吹け上がるか?確認して下さい。
 - 異常がみられる時は、ハーネス、本体の取り付け等を再確認して下さい。



モードについて

- 初期設定後は下記のモード1になります。
- OTブースターは3つのモードを選択出来ます。ご自分の走行スタイルに応じたモードを使用して下さい。

- モード1** ① エンジンを始動するとノーマルモードになります。
- オート制御 ② アクセルペダルを瞬時に0%から約40%以上踏んだ場合、自動的にブースターがオンになります。
 - この時のモードはアクセル開度に応じ、最適な比率を選択する『オートモード』です。
 - この時のモード中にアクセル操作を90秒間おこなわなかった場合はノーマルモードに戻ります。
 ③ 上記状態でアクセルペダルを瞬時に0%から約40%以上踏んだ場合、強烈な加速をおこなう『パワープラスモード』に自動的に切り替わります。
 - このモードにて作動中は『ビッピッピッ...』というブザー音が出ます。
 ④ 上記状態でアクセルペダルを瞬時に0%から約40%以上踏んだ場合、ノーマルモードへ自動的に切り替わります。
 - アクセル操作だけで<ノーマル>→<オートモード>→<パワープラスモード>の切り替えが可能です。
- 注意** ★このモードはMT車に適さない場合があります。その場合はモード2か3で使用して下さい。
★モード1の作動中にスイッチ操作をするとノーマルモードに戻ります。

- モード2** ① エンジンを始動するとノーマルモードになります。
- ② スイッチを押すとスポーツモードに切り替わります。
- ③ 上記状態でスイッチを押すと再度ノーマルモードに戻ります。

- モード3** ① エンジンを始動するとノーマルモードになります。
- ② スイッチを押すとパワープラスモードに切り替わります。(ブザー音は無し)
- ③ 上記状態でスイッチを押すと再度ノーマルモードに戻ります。

オート制御時のアクセル操作 オートスタート、オートパワープラス時のアクセル操作のポイントです。参考にして下さい。



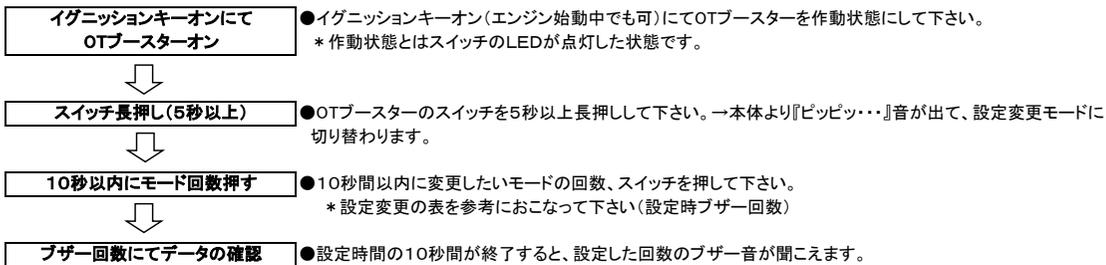
- 注意** ● アクセル操作による切り替えは、必ず前方に車両がない場所にておこなって下さい。
- オート制御を上手に利用すると、ハンドルより手を離さずにより安全な運転が可能になります。
- アクセルを踏み込む前にアクセルペダルより足をやや上げるようなイメージで素早くアクセルペダルを踏むとスムーズな切り替えが可能になります。
 - * アクセル開度0%から約40%以上、素早くアクセルを踏むとスイッチングされます。

設定変更

- OTプースターは下記の3つのモードを選択出来ます。＊初期状態は**モード1**になっています。下記手順によってモード変更が可能です。
- ＊モード1はアクセル操作にてノーマルスポーツ→パワープラスの3段階の設定が可能です。

| 設定表 | モード内容 | | | 設定値 | |
|------|---------|------|-----------|----------|----------|
| | フィーリング | ブザー音 | 備考 | 設定時に押す回数 | 設定後ブザー回数 |
| モード1 | スムーズ～強烈 | 無/有 | フルオートモード | 1 | 1 |
| モード2 | スムーズ | 無 | スポーツモード | 2 | 2 |
| モード3 | 強烈 | 無 | パワープラスモード | 3 | 3 |

<設定変更手順>



トラブルチェック



警告 エマージェンシーモードに入り、エンジンが吹けあがらない状態になった場合は大変危険です、車両を安全な場所へ一旦停車させ、エンジンを停止し1～2分後にOTプースターをOFFの状態にて再始動させて下さい。

<LEDが2回点滅を繰り返す>

- 初期設定が出来ていません。初期設定をやり直して下さい。

<エンジンを停止させてもLEDが消えない>

- 最近の車両は電子化により、数多くの電子機器を使用しています。エンジンを停止してもそれらの電子機器に蓄電された電圧が落ちるまで時間がかかります。長いものでは、20分程度かかる車両もあります。しばらく消えないのは正常です。

<アイドリング不調>

- 初期設定不良の可能性がありますが、初期設定を再度おこなって下さい。
- 取り付け作業時にバッテリーをはずしてしまった時はアイドリング学習が必要です。カーディーラー等にて確認して下さい。

<エンジンチェック点灯、吹けあがらない>

- キースイッチを抜いてから、完全に電源が切れる前に作業をおこなってませんか？(完全に電源が落ちてから作業をおこなって下さい)
- カブラーの接触、挿入方向を再確認して下さい。
- エンジンルームにもアクセルセンサーと同形状のカブラーがあります。エンジンルーム内のカブラーに接続した場合、正常に作動しません。
＊必ず車内のアクセルセンサーのコネクターへ接続して下さい。(一部車両はエンジンルームにカブラーがあります)
- 装着車両を変更した時は必ず<初期設定>をおこなって下さい。

<エンジンチェックの消し方 応急処置>

- エンジン始動 ⇄ 停止 を3回～4回以上繰り返す
＊停止時はエンジンを停止させてから10～20秒おいてからエンジンを再始動させて下さい。
＊応急処置後、必ず専用機器にてリセットをかけて下さい。
- 上記方法にてチェックが消えない場合はカーディーラー等の専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

他オプションの紹介

レスポンスプースターFAは別売オプションパーツが選択出来ます。

- ①リバースハーネス FA01(税抜き¥1,000)必要
 - リバースギヤに入れた時に急発進防止の為、アクセル開度を最大20%に抑える機能です。この機能作動中にスイッチを押すことによりこの機能はキャンセルされノーマル状態になります。
 - 取り付けは車両のバックランプの電源線へ配線するか？リバース信号(リバースギヤにした時に12v発生)に接続する必要があります。説明書には一部車両の信号位置しか記載がない為、ご自分でリバース信号位置を探していただく必要があります。
- ②アイドリングストップキャンセルハーネス FA02(税抜き¥1,000)必要 ＊注意！プラスコントロール車は必ずFA02P(税抜き¥1,500)を使用して下さい。
 - エンジンを始動した時にアイドリングストップモードから始まる車両を、アイドリングストップ解除から始まるように作動変更することが出来ます。
- ③パワースタートハーネス FA03(税抜き¥1,000)必要
 - エンジンを始動した時にノーマルモードもしくはエコモードから始まるドライブモードの車両を、常にパワーモードより始まるように変更することが出来ます。
 - 取り付けは車両のパワーモードスイッチの信号線へ配線する必要があります。
- ④スイッチ FA04#(税抜き¥3,000)
 - 車両のサービスホールに収まる各種スイッチを用意してあります。

